

YAYOI



取扱説明書



糊希釈



パテ混合

ヤヨイ化学工業株式会社

このたびは、糊&パテ両用攪拌機『テンダーミル』をお買い上げいただき誠に有り難うございます。

ご使用前に先立ち、取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。

万一、本機のお取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分にご理解いただいた上で、本機の運転及び保守作業を行ってください。

また、この取扱説明書は常に手元に置き、なくさないように保管してください。

目 次

1.全体外観図	2
2.特 長	3
3.取扱い上のご注意	4・5・6・7
4.使用方法	
① 準 備	8
② 操作パネル	8・9
③ パテの混合	10
④ 糊の希釈	11
⑤ 攪 拌	12
⑥ マグマモード	12
⑦ 洗 浄	13
故障だと思われる前に	14
仕様・保証	15

1. 全体外観図



番号	部品名	商品番号
①	レギュレーター	343-508
②	糊用ブレード	407-801
③	ブレード引手	407-802
④	ストップスイッチ	407-803
⑤	操作パネル	407-804
⑥	ターンテーブル	407-805
⑦	上カバー	407-806
⑧	下カバー	407-807
⑨	パチン錠	407-808
⑩	バケツ止メ	407-809
⑪	パテ用ブレード	407-810
⑫	マグポット	407-811
⑬	電源コード	407-812
⑭	変換プラグアダプター	407-813

2. テンダーミルの特長

糊の希釈

- 電気ドリル攪拌等の高速剪断では、接着剤成分のでん粉粒子に損傷を与えますが、テンダーミルは、ソフトな練りにより、内容物に負荷を与えません。
- そのため、電気ドリル5.5割希釈より、テンダーミル6割希釈が、優れた接着性能を発揮します。
- テンダーミルで希釈された接着剤は、初期接着力が高まり、貼り付け後の目透きを強力に抑え、経時の劣化も少なく、拭きとりやすいので、いつまでも美装仕上がりが続きます。
- 専用容器（レギュレーター）に糊と水を入れ、「糊」スイッチで始動させれば、マイコン制御により自動運転し、最適な攪拌スピードで糊を希釈します。電気ドリル希釈のように、大きな労力と時間の無駄を省きますので効率良く施工が行えます。

パテの混合

- 少ない水量で、パテ成分を完全に、しかも均一に溶解しますので、ヤセが少なく、100%の製品性能を発揮する最適なパテに調整できます。
- またテンダーミルのソフトな練りは、パテに空気を抱き込ませず十分なパテ付着強度を実現します。
- パテ専用混合容器（マグポット）はパテを少量から最大2袋（約8kg程度）混合する事が可能です。
- パテ混合後、「マグマモード」が起動します。
「マグマモード」は間欠運転と中速運転を繰り返す事により、パテに運動エネルギーを付加させ、経時のパテシマリを防ぎ、硬化直前まで軽いタッチでヤセの少ないパテ施工が行えます。

3. 取扱い上のご注意

糊&パテ両用攪拌機『テンダーミル』をご使用いただくには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。本文をよくお読みいただき、十分にご理解された後で、糊希釈・パテ混合ならびに保守作業を行ってください。

この取扱説明書では、誤った取扱いをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人身事故につながるおそれのある内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、機械の破損・故障につながるおそれのある内容を示しています。

 **メモ** これを知っておくと便利という内容を示しています。

警告

 プラグを抜く
煙が出ている、変なにおいや異音があるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電等の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

 分解禁止
テンダーミルを分解したり、改造したりしないでください。感電・故障等の原因となります。内部の点検・修理は当社各営業所に依頼してください。

 水ぬれ禁止
テンダーミルに水が入ったり、漏らさないようにご注意ください。火災・感電等の原因となります。屋外での使用や機械の清掃時等は特にご注意ください。

 禁止
電源コードの上に重いものをのせたり、コードが機械の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電等の原因となります。

 警告
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）当社各営業所に交換修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電等の原因となります。

 禁止
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電等の原因となります。

 電源OFF
糊用ブレード・パテ用ブレードは本体に着脱できるようになっています。着脱の際、必ず先に電源を切ってください。誤って動き出すとけがをする恐れがあります。

 禁止
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電等の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁 止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、必ずアースをとってご使用ください。感電等の原因となります。



禁 止

機械の上に重いものを置かないでください。機械が変形・破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



禁 止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。機械の誤作動や、倒れたりしてけがの原因となることがあります。必ず水平な場所で使用してください。



禁 止

本機は、糊及びパテの混合機械です。他の用途、特に食品等の混合は決して行わないでください。



警 告

長時間、糊・パテを混合することでブレードが摩耗し、鋭利になる場合があります。その為洗浄中に手を傷つけたり、混合中に容器を損傷する恐れがあります。
その場合、サンドペーパー（＃60～＃100）程度で摩耗部を面取りするか、或いはブレードを新品に交換してください。



警 告

運転中は、攪拌容器やターンテーブル、ブレード等実際に動く部分には絶対に手を触れないでください。
取り外しする際は必ず「電源」スイッチを切り、回転が止まった事を確認した後、取り外してください。



警 告

子供の手の届かない所で保管・運転してください。



禁 止

溶剤等の混合、或いは引火物がある場所でのご使用はお避けください。



警 告

濡れた手で操作パネル等に触れないでください。



警 告

本機を運搬、設置する場合には両手で確実に下カバーの取手を持ってください。ブレード等持ちますとロックが不十分な場合、落下してけがの原因となる事があります。

⚠ 注意



注意

精密機械ですから落としたり、ぶつけたり、極端な衝撃を加えないでください。



注意

電源は必ずAC100V電圧でご使用ください。また安全のためアース端子よりアースを接続してください。



注意

電圧低下、電圧変動によりテンダーミルが正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。



禁止

レギュレーター及マグポット以外の容器の使用は避けてください。



禁止

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所等、異常に温度が高くなる場所や、湿気の多い場所に放置しないでください。機械の変形・故障等の原因となることがあります。



注意

使用後は「電源」スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ブレード、攪拌容器は取り外し水洗いしてください。



注意

ブレードの抜き差しがスムーズに行えない場合、メインシャフトにグリース等の潤滑剤を塗布してください。(このときメインシャフト以外の部分に付着させないでください。)



注意

ターンテーブルやカバー等に糊やパテが付着した場合、固く絞った雑巾等で素早く拭き取ってください。



注意

電源が離れていて延長コードが必要なときは、十分な太さのコードをご使用ください。



注意

当社糊希釈容器レギュレーターには、ルーアマイルド(商品番号213-701)約6割希釈の糊が作れるよう標準線が入っております。糊の種類によって、粘度が極端に変わったり、接着性能が落ちたりする事があります。予め試験使用し、ご確認された後、本使用してください。



注意

テンダーミルの「糊」スイッチは、当社ルーアマイルド(商品番号213-701)できれいに攪拌できるよう設計しております。糊の種類、粘度、使用条件等によって攪拌時間にバラツキが発生します。テンダーミルをご使用の際はルーアマイルドをお勧めします。



注意

「レギュレーター」「マグポット」をターンテーブルにセットする際、確実に奥まで入れてパチン錠でしっかり固定してください。固定が不十分な場合、転倒し、けがの原因となることがあります。



注意

糊を攪拌する場合、水を一度にたくさん入れますと粒が残りますので3回程度に分けて水を投入してください。(「糊」スイッチ使用の際、約5分で1回機械が停止します。)



注意

レギュレーターにて糊を攪拌する際、取手部分は下方向へ下げて攪拌してください。上方向に上がっているとブレードと接触して、転倒する恐れがあります。



注意

本体に水や糊、パテをかけないでください。誤ってかけた場合には、「電源」スイッチを切り、電源プラグを抜き、空雑巾等で素早く拭き取ってください。



注意

糊やパテの種類、状態によってはテンダーミルの構成部品を著しく摩耗させ、十分な性能が発揮できない場合があります。このような場合、摩耗した部品の迅速な交換が必要な旨、予めご了承願います。



注意

ブレードを落下させたり、傷つけたりしないでください。



注 意

経時のご使用によりテンダーミルの構成部品が摩耗し、十分な性能が発揮できない場合、当社営業所宛お問い合わせいただき、部品交換ないしオーバーホールをご用命ください。



注 意

粉末状硬化型パテは水と混合後、一定の時間が経ちますと硬化が始まります。モーターに過負荷がかかりますので硬化が始まりましたら、運転を止めてください。



注 意

パテを混合する場合、マグポット内には材料を一杯に詰め込んで運転しないでください。
(最適な混合量は約2～8リットルです)



注 意

パテの種類、あるいは高温時、低温時等、ご使用環境条件によっては、テンダーミルの攪拌性能が十分に発揮できない場合があります。このような場合予め試験使用しご確認された後、本使用してください。



注 意

修理が必要な場合、施工現場にて修理するには修理内容に限度があります。厳密に修理するには、一旦当社へ機械を戻し、詳細な点検調整が必要なことを予めご了承ください。



注 意

テンダーミルでは、予め消耗を想定した部品があります。それらの部品につきましては、保証期間内であっても無償での部品取り替えはできませんので、予めご了承ください。

テンダーミルをご使用の際、取扱説明書、保証書をよくお読みいただき、ご理解された上でご使用ください。本機の保証期間は6ヶ月ですが、取扱い等に問題があった場合、保証できかねる場合がありますので予めご了承ください。

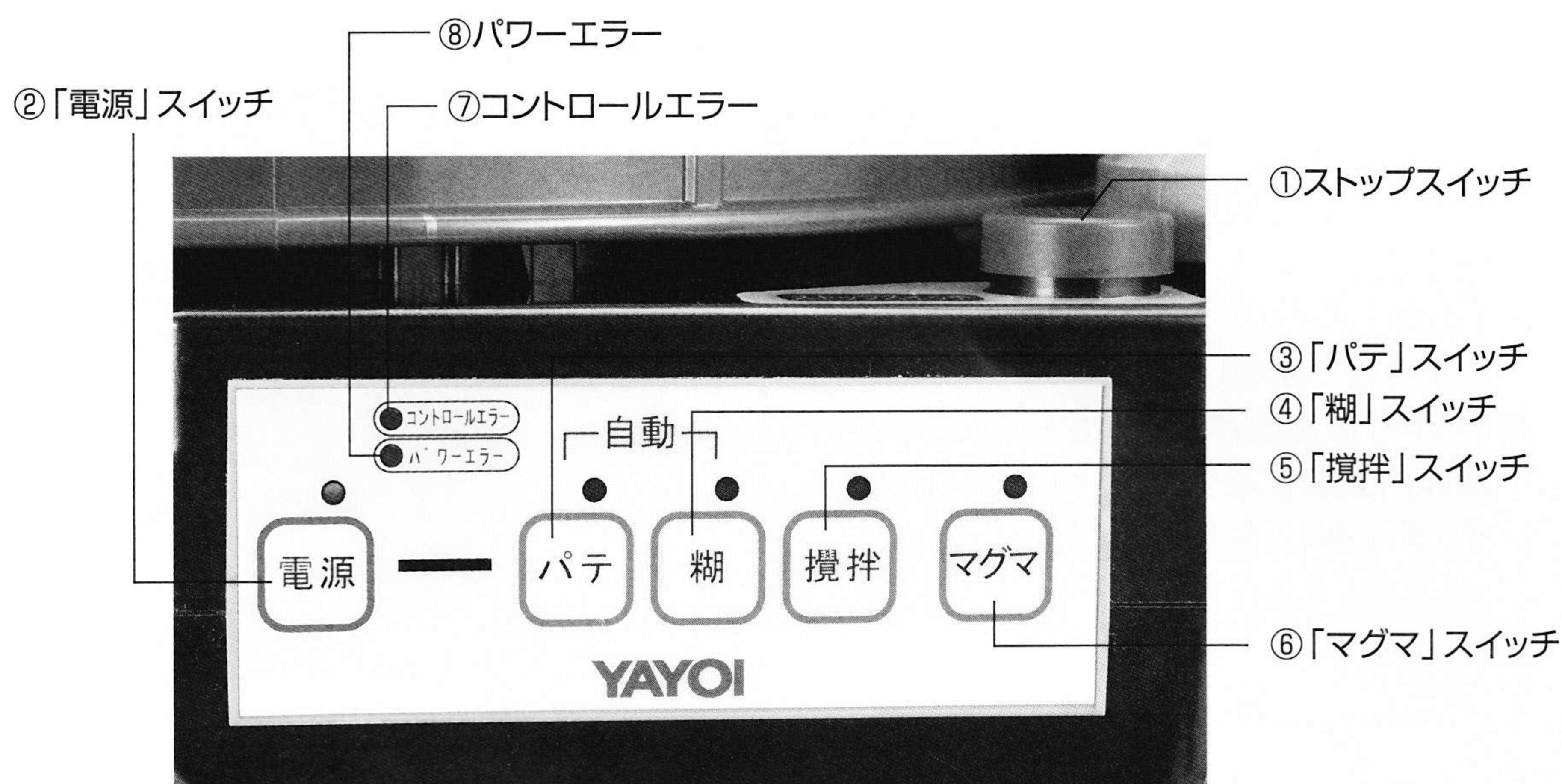
また、改良等のため予告なしに製品仕様・内容を変更する場合がありますので予めご了承ください。

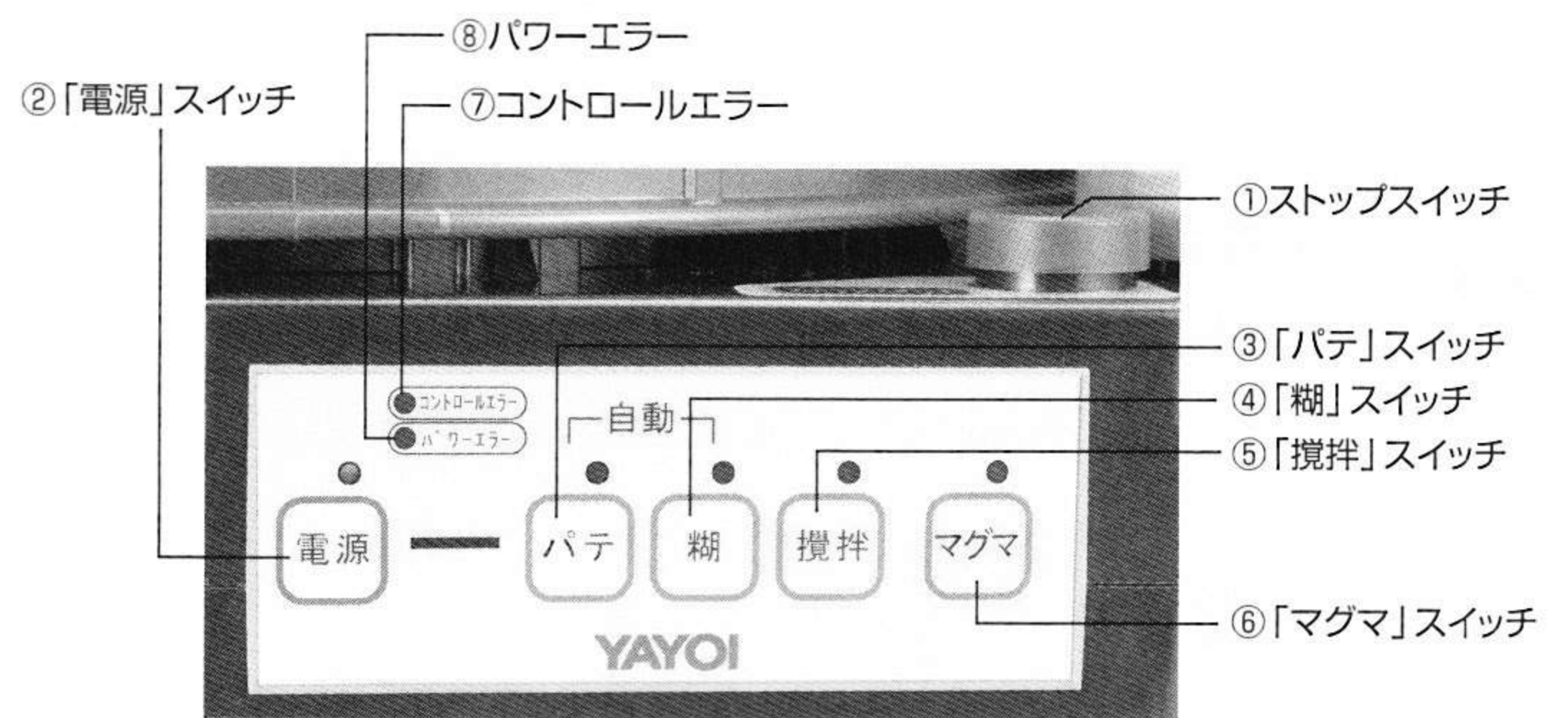
4. 使用方法

1 準備

- (1) 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。
- (2) 攪拌容器（レギュレーターorマグポット）をターンテーブルに入れてパチン錠を必ず締めてください。
- (3) ブレード（糊用ブレードorパテ用ブレード）の根元にありますブレード引手を押しながら、ブレードをメインシャフトに差し込んでください。
その際、ブレードストッパーがメインシャフトの溝に完全に収まっていることを確認してください。（完全にブレードがメインシャフトにセットされるとカチッという音がします。）
- (4) 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
- (5) 「電源」スイッチを押すと電源が入ります。
（もう一度押すと電源が切れます。）
- (6) 運転させたいスイッチを押すと機械が作動します。

2 操作パネル





①ストップスイッチ

- ・運転を停止します。

②「電源」スイッチ

- ・電源をON・OFFします。

③「パテ」スイッチ

- ・パテを混合する際に使用します。
- ・「パテ」スイッチを押すとランプが点灯し、運転がスタートします。
- ・自動でスピードを制御し約5分後、自動的に停止します。
(停止後直ぐにマグマモードに移行します。)

④「糊」スイッチ

- ・糊を希釈する際に使用します。
- ・「糊」スイッチを押すとランプが点灯し、運転がスタートします。
- ・自動でスピードを制御し約5分後、自動的に停止します。

⑤「攪拌」スイッチ

- ・パテの混合及び糊の希釈後、少量の粉や水を入れ粘度調整される場合に便利な機能です。
 - ・「攪拌」スイッチを入れるとランプが点灯し最高速で運転します。
- ※「攪拌」は自動停止しませんので、停止の際は、「攪拌」スイッチを切るかストップスイッチを押し、停止してください。

⑥「マグマ」スイッチ

- ・「マグマ」スイッチを入れるとランプが点灯し「マグマモード」が起動します。
- ※「マグマモード」は間欠運転と中速運転を繰り返す事により、パテのシマリを防止します。
マグマモードは約110分で自動停止します。
途中で停止する際は、「マグマ」スイッチを切るか、ストップスイッチを押し、停止してください。

⑦コントロールエラー

- ・モーターに過負荷がかかった場合にランプが点灯し、機械が停止します。
糊やパテの硬化によりブレードが動かなくなっていないか、又は異物がはさまっていないか確認して、再度スイッチを押し運転して下さい。

⑧パワーエラー

- ・入力電圧が65V以下になった場合、また140V以上になった場合にランプが点灯し機械が停止します。
電圧が復帰したらランプが消えますので、再度スイッチを押して作業を復帰してください。

3 パテの混合



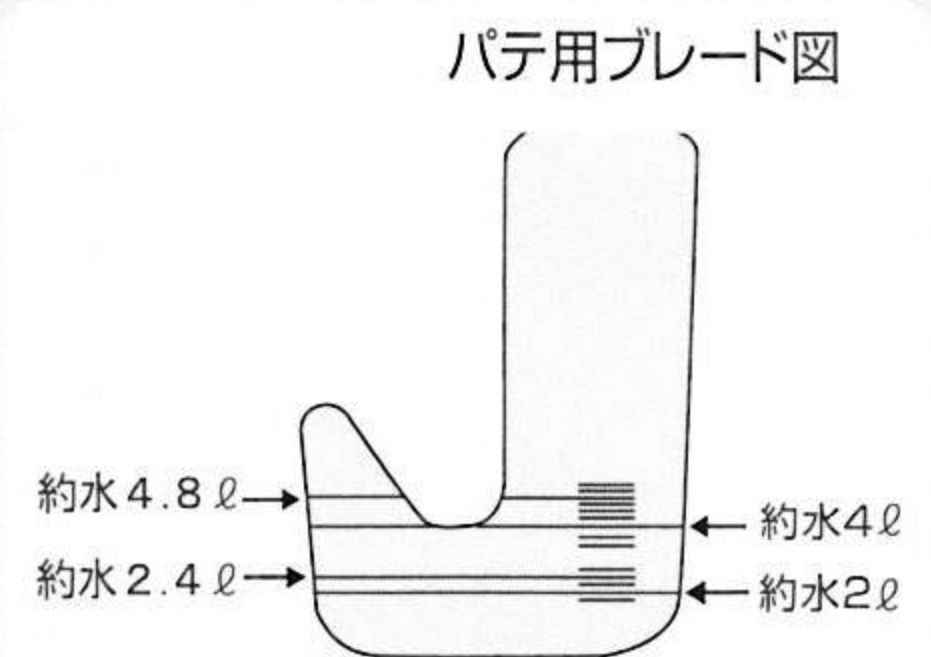
- (1) マグポットをターンテーブルに入れてパチン錠で確実にロックします。
- (2) 最初に水を入れ、その後パテを投入します。
- (3) パテ用ブレードの根元にありますブレード引手を押しながらブレードをメインシャフトに差し込みます。
(ブレードストッパーがメインシャフトの溝に完全に収まっている事を確認してください。完全にブレードがメインシャフトにセットされるとカチッと音がします)
- (4) 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み「電源」スイッチを押すと電源が入りランプが点灯します。
- (5) 「パテ」スイッチを押すとランプが点灯しスタートします。
- (6) 混合状態を見ながら粉や水を少量ずつ加え、最適な粘性に調整してください。
- (7) 約5分経過後、機械が停止、直ぐにマグマモードが起動します。



メモ

パテの混合をする際、パテ用ブレードのラインを目安にして、水の量を測ることができます。

「アタッチ」1袋に対し2ℓ、「アタッチ」2袋に対し4ℓ、「レベロン」1袋に対し2.4ℓ、「レベロン」2袋に対し4.8ℓのラインを目安に水を計量してください。



メモ

少量のパテを混合する際、水の計量に「素顔がキレイ」をご利用ください。

「素顔がキレイ」に水を含ませると約400cc (0.4ℓ) の水量になります。



メモ

パテの種類、混合量によっては「パテ」スイッチ作動にて完全溶解しない場合があります。このような場合、再スタートするか、「攪拌」スイッチにて完全溶解するまで運転してください。



メモ

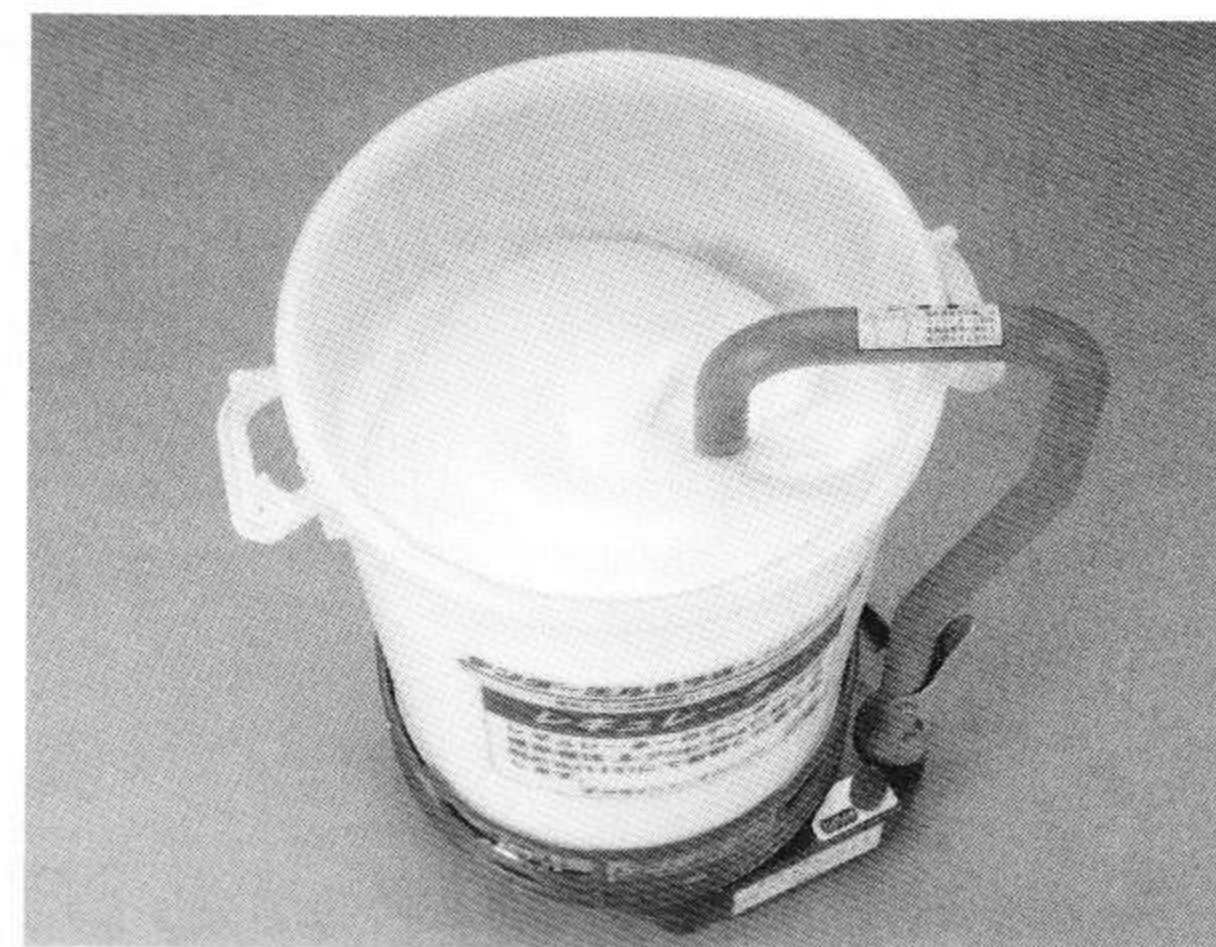
ヤセを抑えるため、なるべく少ない水量でパテを混合してください。



禁止

混合中は攪拌容器やターンテーブル・ブレード等、実際に動く部分には絶対に手を触れないでください。

4 糊の希釈



- (1) レギュレーターをターンテーブルに入れてパチン錠で確実にロックします。(この際レギュレーターの取手が下にさがっている事を確認ください)
- (2) ルーアマイルドのケースフラップを開け、ポリ袋の口から約2ℓ程度の水を注入し、ポリ袋の口を手で絞りケースを振動させた後、レギュレーター内に移します。
- (3) 糊用ブレードの根元にありますブレード引手を押しながら、ブレードをメインシャフトに差し込みます。
(ブレードストッパーがメインシャフトの溝に完全に収まっている事を確認してください。完全にブレードがメインシャフトにセットされるとカチッと音がします。)
- (4) 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み、「電源」スイッチを押すと電源が入りランプが点灯します。
- (5) 「糊」スイッチを押すとランプが点灯しスタートします。
- (6) 約5分経過後、機械が停止します。



メモ

1回目の固練り(約5分)で粒が残っている場合、再度固練りし、完全に溶解させてください。又、ブレードの裏側に固まりが付着している場合、一度ゴムベラ等で落としてから再攪拌してください。

- (7) 2回目の水(4.5ℓ程度)を投入します。(水は3回程度に分けて攪拌するときれいに希釈できます。)再び、「糊」スイッチを押し、スタートさせます。
- (8) 停止後、レギュレーターの標準線まで水を入れ、再び「糊」スイッチを入れスタートさせ、完全に希釈します。



メモ

糊の種類、状態によって、完全溶解するまでの時間が異なる場合があります。「糊」スイッチにて、完全溶解しない場合(粒が残っている等)、停止後再度、「糊」スイッチを押しスタートさせ、完全溶解してください。

また、「攪拌」スイッチを押すと最高速で運転させることも可能です。



禁止

攪拌中は攪拌容器やターンテーブル、ブレード等実際に動く部分には絶対に手を触れないでください。



注意

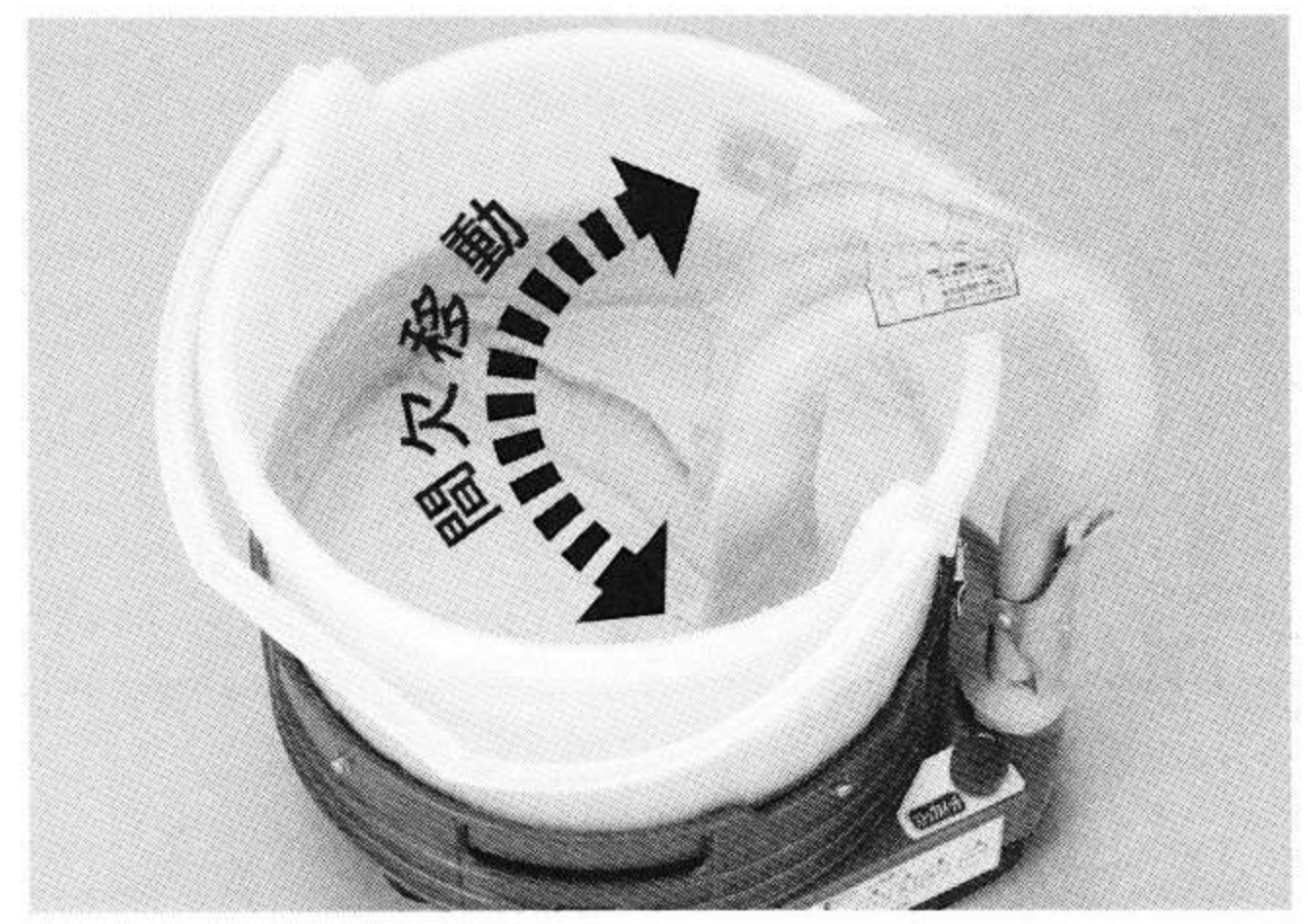
レギュレーターにて糊を攪拌する際、取手部分は下方向へ下げて攪拌してください。上方向に上がっているとブレードと接触して、転倒する恐れがあります。



注意

レギュレーターの内側には目盛りがついている箇所があります。攪拌中その位置にブレードが接触すると音が発生しますが故障ではありません。

5 攪拌



マグマモード

「攪拌」スイッチを入れるとランプが点灯し最高速で運転します。



ノート

パテの混合及び糊の希釈後、少量の粉や水を入れ粘度調整される場合に便利な機能です。



注意

「攪拌」は自動停止しませんので、停止の際は、「攪拌」スイッチを切るかストップスイッチを押し、停止してください。

6 マグマモード

【特長】

経時によるパテシマリを防ぎ硬化直前まで軽く、ヤセの少ないパテ施工が実現します。

(1) 「マグマ」スイッチを押すとランプが点灯しマグマモードが起動します。



ノート

マグマモードはブレードが間欠移動と中速回転を繰り返し、パテに運動エネルギーを付加させシマリを防ぎます。

(間欠運転約5分 中速回転約30秒を繰り返し、マグマスイッチを押してから約110分後に停止します。)



注意

パテを取り出す際は、必ずストップスイッチを押し、停止後行ってください。取り出し後、「マグマ」スイッチを押し、運転させてください。

(2) パテの使用が終わりましたら「マグマ」スイッチまたはストップスイッチで機械を停止してください。



注意

硬化時間内にパテを使用するようにしてください。マグマモードはスタートから約110分経過後、自動的に停止します。再びマグマモードを起動させるには「マグマ」スイッチを押してください。



注意

パテの硬化等によりモーターに過負荷がかかった場合、コントロールエラーのランプが点灯し、回転が停止します。硬化したパテ等を取り除き異物などが入っていないか確認してください。過負荷の原因を取り除いた後、「電源」を一度切り、再度「電源」を入れ「マグマ」スイッチでスタートしてください。



注意

パテの種類、混水量、高温時、低温時等の使用環境によりマグマモードの効果は異なります。予めご了承ください。

7 洗 浄

- (1) 混合作業が終わりましたら、ランプの点灯しているスイッチを切るか、ストップスイッチで機械を停止し、「電源」スイッチを押し、電源を切ってください。
- (2) 完全に停止した事を確認してください。
- (3) ブレードを外し、パチン錠を外して攪拌容器を取り出してください。
- (4) ブレードを洗淨します。



ブレードを洗淨する際には、手を傷つけないよう注意してください。



ブレード及び攪拌容器は、混合物が固まらない内に清水でよく洗い落としてください。



ブレード及び攪拌容器を洗淨する際、当社製品「スクーラ」や「ゴムベラ」で予め内容物を落としてから、「素顔がキレイ」等で洗淨すると便利です。

- (5) 糊・パテの使用が終わりましたら攪拌容器を洗淨します。



マグポットを洗淨する際、残ったパテが壁面に付着し固まっていたら、マグポットの側面を少し押しますと固まったパテが落ちやすくなります。

故障だと思われる前に

故 障	原 因	対 策
テnderミルが動かない。	電源プラグが外れている	電源プラグを100Vコンセントに差し込む。
	「電源」スイッチを押していない	「電源」スイッチを押すとランプが点灯し電源が入ります。
	電圧の異常 (パワーエラー)	電圧が70V以下及び200Vに投入されているとパワーエラーになります。 電圧を復旧させてください。 AC100Vに投入してください。 延長コードを確認してください。
	モーターに過負荷がかかっている (コントロールエラー)	モーターに過負荷がかかるとコントロールエラーになります。 混合物が固まっていないか異物がはさまっていないか確認してください。
攪拌容器の側面及び底面から混合物がかきとれない	ブレードの破損又摩擦	ブレードを交換してください。 (有償)
	ブレードが奥まで入っていない	ブレードストッパーをメインシャフトの溝に完全に収めて下さい。 完全にブレードがメインシャフトにセットされるとカチッと音がします。

仕 様

重 量 (本体)		7.6kg
寸 法 (本体)	奥 行	350mm
	全 巾	430mm
	全 高	210mm
電 源		AC100V 50Hz/60Hz
出 力		120W
消費電力		200W

保 証

1. 保証の内容

保証期間内において取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合に無償で修理いたします。

2. 保証しない事項

保証期間内であっても次の場合は無償修理及び費用負担できません。

- (イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (ロ) 取扱説明書に従わず故障及び損傷を与えた場合
- (ハ) 登録カードが返却されていない場合
- (ニ) 保証書や販売店の印が無い場合
- (ホ) 天災地変による故障及び損傷
- (ヘ) 消耗品の交換、補充

消耗部品は保証期間に限らず使用過程で確実に消耗・劣化して行き、徐々にその機能を果たさなくなっていくものです。消耗・劣化の為に生じる交換や補充の費用については負担できませんのでご了承ください。

- (ト) 通常の使用消耗あるいは経年変化により発生する現象(樹脂部門、塗装面、メッキ面等の自然退色)
機械の構成部品の中には動作を繰り返すことで、新品状態から徐々に消耗していくものがあります。これらの動作中自然に発生する通常の損耗や消

耗については無償修理できませんので、予めご了承ください。

- (チ) 性能上影響が無いと一般的に認められる現象(音、振動、グリースの飛散)

本機は動く機械ですので使用中少なからず音や振動が発生します。もちろん音振動の中には異常から発生するものもありますが、正常な動作の過程で生じる機能上問題ないものもあります。これらの問題のないものについては修理できませんので予めご了承ください。

- (リ) 機械を使用できなかった事による不便さ及び損失等(電話代、交通費、休業補償、資材費、営業損失補償)

万一、保証期間内に不具合が生じ、その不具合により生じた費用については負担できませんので予めご了承ください。

3. 保証の受け方

無償修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店にお申し付けください。

4. 保証の適応

日本国内で販売し、使用された場合においてのみ適応いたします。



本 社	〒939-1272	富山県高岡市下麻生4649	TEL(0766)36-2800(代)
福 岡 工 場	〒939-0135	富山県高岡市福岡町本領70	TEL(0766)64-1000(代)
射 水 工 場	〒934-0037	富山県射水市片口久々江字錦800番5	TEL(0766)86-2931(代)
営 業 本 部	〒170-0013	東京都豊島区東池袋2-45-9	TEL(03)3984-2434(代)
大阪営業所	〒543-0028	大阪市天王寺区小橋町12-15	TEL(06)6761-0460(代)
名古屋営業所	〒463-0098	名古屋市守山区川北町8番	TEL(052)791-9841(代)
福岡営業所	〒812-0015	福岡市博多区山王1-17-17	TEL(092)411-3459(代)
札幌営業所	〒062-0903	札幌市豊平区豊平3-1-1-40	TEL(011)811-1220(代)

フリーダイヤル：0120-119-841